

ノジコ（ホオジロ科） 全長14センチ

軽やかなノジコのさえずりが、神宮寺岳の麓に響き渡った。何度聞いても、爽やかな感じの歌声である。産卵期は5から7月にかけてであるが、今はもう8月に入っている。繁殖が終わった後も、さえずりを続けているのだろうか。

ここ神宮寺岳の麓は、直ぐ近くを流れる雄物川に挟まれた狭い区域であるが、県内でも数少ないノジコの繁殖地となっている。



アオジに似ているが、胸には縞模様がありません。

野鳥録音の大家、蒲谷鶴彦先生によると『ノジコのさえずりはテンポも良く、音質は高くも低くもなく心地よい。とくに、時折り入る「チリリ」という鈴を転がすような声がポイントとなって上品で日本的。ホオジロの間ではノジコが一番良い。』と一押しの名歌手でした。



胸を膨らませ、透き通った歌声を響かせていた。



このあと、地上に向かって羽ばたいていった。